

マスコミ各位

令和元年9月11日（水）

沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班

担 当：久高、岡野

電 話：098-866-2215

## インフルエンザの流行状況について ～警報発令～

### 1 概要

感染症発生動向調査による本県のインフルエンザ定点あたりの報告数が、2019年第36週（9月2日～8日）に34.10人（定点医療機関58カ所、報告数1,978人）となり、警報レベルの基準値の30人を超えましたので、インフルエンザ警報を発令します。9月に警報が発令、または発令継続中となったのは、1999年以降では2回目（新型インフルエンザが流行した2009年以来）となります。

なお、第36週に報告されたインフルエンザウイルスの型別割合は、A型が90.3%、B型が1.6%となっています。年齢別では、5～9歳が419人（21.2%）と最も多く、次いで1～4歳353人（17.8%）、10～14歳317人（16.0%）の順となっており、低年齢層での流行が顕著です。

今後、流行の拡大を抑えるためにも、「手洗い」や「咳エチケット」などの感染予防策を徹底してください。また、感染拡大防止のために、体調が悪い時は外出を控えることが必要です。

※インフルエンザ流行についての情報は、以下のサイトもご参照下さい。

県ではインフルエンザの予防及び蔓延防止を図るため、別添チラシを作成し、関係機関へ配布しております。チラシは、沖縄県感染症情報センターホームページからダウンロードできます。

#### ○インフルエンザ関連情報

沖縄県感染症情報センターホームページ

<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/influ.html>

厚生労働省インフルエンザ総合ページ

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuleza/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuleza/index.html)

国立感染症研究所 感染症疫学センターホームページ

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

#### ○沖縄県作成の予防啓発チラシ（PDF）

[https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/documents/2018\\_leaflet.pdf](https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/documents/2018_leaflet.pdf)

## 2 インフルエンザの流行状況

感染症発生動向調査事業において県内のインフルエンザ 58 定点医療機関（小児科定点:34、内科定点:24）の協力を得て、患者情報を週単位で収集し、全国約 5,000 カ所の定点情報と併せて分析し、県民及び医療機関に情報を提供しています。

### 1) 定点当たりの患者報告数（直近の 7 週間）

	週	30 週 7/22～ 7/28	31 週 7/29～ 8/4	32 週 8/5～ 8/11	33 週 8/12～ 8/18	34 週 8/19～ 8/25	35 週 8/26～ 9/1	36 週 9/2～ 9/8
県	患者数	392	527	617	711	766	1,178	1,978
	定点当	6.76	9.09	10.82	12.26	13.21	20.31	34.10
	流行レベル			注意報	注意報	注意報	注意報	警報
全国	患者数	780	947	1,025	1,075	1,157	1,929	
	定点当	0.16	0.19	0.22	0.23	0.24	0.39	

[参考] 感染症発生動向調査システム上の警報・注意報の発令基準値

流行注意報	: 定点当たり 10 人以上
流行警報	: 定点当たり 30 人以上
警報終息	: 定点当たり 10 人未満

第 36 週における保健所別定点あたり患者報告数は、那覇市保健所が 45.67 人で最も多く、次いで中部保健所 39.20 人、南部保健所 38.71 人、北部および八重山保健所 9.00 人、宮古保健所 8.00 人の順となっています。

### 2) 県内の型別患者報告数（直近の 7 週間）

週	30 週 7/22～ 7/28	31 週 7/29～ 8/4	32 週 8/5～ 8/11	33 週 8/12～ 8/18	34 週 8/19～ 8/25	35 週 8/26～ 9/1	36 週 9/2～ 9/8
A 型	130	254	393	549*	629	1,049*	1,786
B 型	212	225	165	96*	64	52*	31
不明	50	48	61	67	73	78	161

\*医療機関より「AB 共に陽性」として報告があった患者については、A 型・B 型両方に計上

### 3) 年齢階級別報告数

年齢群	0 歳	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	合計
患者数	34	353	419	317	87	98	187	193	103	187	1,978
(%)	(1.7)	(17.8)	(21.2)	(16.0)	(4.4)	(5.0)	(9.5)	(9.8)	(5.2)	(9.5)	(100)

#### 4) 休校、学年・学級閉鎖の状況 (9/9～9/10[第37週の月・火曜日] に措置を開始した施設)

	措置別施設数				地域別内訳					
	休校	学年閉鎖	学級閉鎖	計	北部	中部	南部	那覇市	宮古	八重山
幼稚園	2			2			2			
小学校	1※1	2	18	21	1	12	6	1		1
中学校	1※1	1※2	8	10		4	5	1		
高等学校			1	1				1		
計	4	3	27	34	1	16	13	3	0	1

※1 小中一貫校

※2 別の学年では学級閉鎖も実施

第37週の9月9日～10日の2日間において、34施設で学級閉鎖等の措置が実施されています。施設や地域で流行が確認された場合は、感染拡大防止のために、登園・登校前に体温測定をするなど健康観察を行い、早期発見・早期受診に努めることが重要です。

### 3 県民の皆様へのお願い

現在、低年齢層の患者増加が顕著ですが、小児がインフルエンザにかかった際は、抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無や種類にかかわらず、異常行動が報告されています。保護者の方は、小児・未成年者がインフルエンザにかかり自宅で療養する場合は、少なくとも発症から2日間、1人にしないよう配慮をしてください。

また園児および生徒の皆様は、インフルエンザを発症した後5日を経過し、かつ、解熱したあと2日（幼児は3日）を経過するまで登園及び登校は控えてください（沖縄県では、登園及び登校に際してインフルエンザ治癒証明書を求めることは控えるようお願いしています）。

#### ○インフルエンザの感染予防策

(流行時の予防方法)

- ① 食事の前や帰宅後には、必ず「手洗い」をしましょう。
- ② バランスよく栄養を摂取し、十分な睡眠をとりましょう。
- ③ 「咳エチケット」を実行しましょう。
- ④ 室内の換気に気をつけて、適切な湿度を保ちましょう。
- ⑤ 不要不急の外出を避けましょう。

#### ※ インフルエンザ予防接種について

インフルエンザワクチンは例年10月より供給されますので、早めの接種をご検討ください。また、現在インフルエンザウイルスはAH1亜型、AH3亜型、B型の3種類が検出されていますので、今年すでに一度かかった方も二度目の感染予防のため予防接種をご検討ください。

#### ○インフルエンザにかかってしまったら

- ① かかりつけ医にまず相談、受診しましょう（救急医療をつぶさない）。
- ② 感染を広げないために、会社や学校を休み、安静にしましょう。
- ③ マスクを着用し、咳やくしゃみをする時は「咳エチケット」を守りましょう。